

第3章

政策目標と施策の目指す方向

1	状況と課題の整理	33
2	2040（令和22）年を見据えた 目指す姿と政策目標	34
3	施策の目指す方向	34
4	愛媛県総合計画との関係	35
5	施策の体系	36

1 状況と課題の整理

本県は全国平均を上回るペースで高齢化が進行しており、単身・夫婦のみの高齢世帯や要介護認定者及び認知症高齢者の増加、介護を行う家族の高齢化など、高齢者を取り巻く課題は複雑化・多様化しており、1つの部門の行政サービスだけでは対応しきれないケースもあります。

そこで、第2章で検証した高齢者を取り巻く状況や介護保険制度の実施状況などを踏まえ、明らかとなった今後の本県における課題を次のとおり整理します。

< 主な課題 >

▶ 健康づくり・生きがいづくりの推進

日常生活に制限のない期間である健康寿命を延ばし実際の寿命との差を短縮するため、要介護や重度化防止につながる生活習慣病の予防・改善や日々の運動などの健康づくりが必要
地域社会の活力を維持していくため、高齢者が社会の担い手としてこれまでに培った豊かな知識や経験等を生かし、ボランティアや地域行事など様々な社会活動への参加を通じて、地域の中で生きがいをもって活躍できる環境整備が必要

▶ 高齢者が安心、安全に暮らすことができる環境の整備

単身・夫婦のみの高齢世帯の更なる増加が見込まれることから、地域の住民や多様な主体が参画し、孤立化のおそれのある高齢者に対し事故・犯罪被害防止や見守りなど地域で支え合う体制を構築していくことが必要

要介護や認知症等になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域や自宅で暮らし続けていけるよう、地域で、医療・介護・予防・住まい・生活支援サービスが包括的に提供される仕組みづくりが必要

大規模な自然災害が全国各地で頻発していることや、新型コロナウイルス等の感染拡大を踏まえ、災害や感染症への備えや、発生時における応援・支援体制の構築が必要

▶ 介護サービス基盤の計画的な整備

既に多くの市町で高齢者人口が減少局面に差し掛かっているため、各地域における中長期的な人口動態や介護ニーズ等の見込みを適切に捉え、地域の実情に応じた計画的な介護施設をはじめとするサービス基盤の整備を行うことが重要

高齢者が可能な限り住み慣れた居宅で生活が続けられるよう、地域密着型サービスの更なる普及や、既存資源等を活用した、「通い」、「泊まり」、「訪問介護・看護」等の複数の介護サービスを組み合わせる一体的に提供できるサービス基盤の整備が必要

▶ 介護を担う人材の確保及び介護現場の生産性の向上

今後も要介護認定者が増加することに加え、更なる少子高齢化の進行による生産年齢人口の減少が見込まれており、将来の介護人材不足が懸念されることから、介護職員の負担軽減等の取組を通じ職場環境の改善を図るとともに、ケアの質の向上を通じて介護の魅力や価値を高め、人材の確保・定着につなげていくことが必要

2 2040（令和22）年を見据えた目指す姿と政策目標

本県の高齢者を取り巻く状況と課題を踏まえ、全国の高齢者人口がピークを迎える2040（令和22）年に目指す姿と、実現するための政策目標を次のとおり設定します。

< 2040（令和22）年に目指す姿 >

- 1 高齢者がいつまでも住み慣れた地域で安心して暮らせる社会
- 2 介護が必要となっても個人の意思が尊重され、尊厳と希望を持って暮らせる社会
- 3 高齢者が地域の重要な担い手として生きがいをもって活躍できる社会
- 4 地域の多様な主体が参画し、高齢者を支え合う社会



< 政策目標 >

高齢者一人ひとりの^{えがお}愛顔が輝き

心豊かに安心して暮らせる共生社会づくり

「愛顔（えがお）」とは？

「どのような困難も克服する前向きな気持ちと思いやりの心が結集した、愛のある笑顔」のこと

3 施策の目指す方向

政策目標を達成するため、次のとおり4つの“施策の目指す方向”を定めます。

(1) 高齢者がいきいきと暮らせる社会づくり

高齢者がいつまでも健康で、生きがいを持って日常・地域生活を過ごすためには、健康寿命の延伸に向けた取組が重要であることから、高齢者の生活習慣病の発症や重症化の予防徹底、栄養・食生活・歯と口腔（オーラルフレイル）・運動などを意識した健康づくりに努めます。

また、高齢者が、仕事やボランティア、地域行事などの社会参加を通じて生きがいを実感し、引き続き、地域を支える貴重な担い手として活躍できる環境づくりを推進します。

(2) 高齢者の自立した生活のために、地域で共に支え合う社会づくり

高齢者が尊厳を保ちながら、住み慣れた自宅や地域で、各自の能力に応じて自立した日常生活を営むために、地域包括ケアシステムを核とした、地域共生社会の実現を目指します。

また、各市町による高齢者の自立支援、介護予防・重度化防止に向けた取組を支援します。
さらに、医療・介護の複合的ニーズの増加に対応するため、医療と介護の連携を一層推進するとともに、共生社会の実現を推進するための認知症基本法や認知症施策推進大綱等も踏まえて認知症施策を施行するほか、高齢者への生活支援の推進に努めます。

(3) 高齢者が安全に、安心して暮らせる社会づくり

高齢者が住み慣れた地域で安全に、安心して暮らすために、高齢者の住まいや多様な施設等サービスを提供するとともに、市町や関係機関等との連携の下、交通事故や犯罪等による被害防止に努めます。

近年多発する自然災害に対しては、避難場所等の整備などのハード面だけでなく、平時からの情報提供や避難訓練実施の支援、避難行動要支援者の個別避難計画、施設等への避難確保計画の作成支援などのソフト面での対策を講じることにより、災害時の効果的な援護に取り組みます。

また、ここ数年猛威をふるった新型コロナウイルス等の感染症に対しては、高齢者施設等における応援体制の構築や必要な物資の備蓄等の対策を推進するとともに、災害や感染症が発生した場合においても、必要な介護サービスが継続的に提供できる体制を構築します。

さらに、認知症等により、自己決定が難しくなった高齢者を法的に保護するため、市民後見人等の育成を含めた成年後見制度の活用を促進するとともに、尊厳のある本人らしい生活ができるよう、高齢者虐待防止に向けて市町に対する適正な支援の実施や関係機関との連携強化などの取組を推進します。

(4) 介護保険制度を支える仕組みづくり

高齢者の心身の状態や生活環境等の状況に応じた介護サービスを適切に提供するため、地域の実情や今後の人口動態及び要介護認定者数を踏まえて介護サービス基盤を計画的に整備していくとともに、介護ロボットやAI・ICT機器等の導入を促進するなど、介護業務の省力化・効率化を図り、職場環境の改善及び介護現場の生産性向上を推進し、介護人材の安定的な確保につなげていきます。

また、介護サービスが適切かつ円滑に提供されるよう、サービス事業者等への指導・監督、介護サービス情報の公表や事業者の外部評価、サービスに関する苦情処理体制の強化等の取組を進めます。

さらに、各市町において実施する、要介護認定の適正化、ケアプラン点検及び医療情報の突合・縦覧点検などの介護給付の適正化や、地域課題分析力の強化及び、PDCAサイクル活用による介護保険制度の進捗管理の推進などの保険者機能の強化に向けた取組を支援し、持続可能な介護保険制度の構築に努めます。

4 愛媛県総合計画との関係

この計画では、全国の高齢者人口がピークを迎える2040(令和22)年に向けて、高齢者が住み慣れた地域で末長く健やかに「愛顔(えがお)」で暮らせる社会づくり、すなわち、愛媛県総合計画に掲げる「シニアが活躍できる社会の推進」、「高齢者が安心して暮らせる社会の実現」を目指します。

5 施策の体系

1 高齢者がいきいきと暮らせる社会づくり
1 - 1 健康寿命の延伸への取組
1 健康づくりの取組の推進
2 地域保健体制の整備
1 - 2 社会参加の促進と生きがいづくり
1 社会参加の促進と就業支援
2 生きがいづくりの推進
2 高齢者の自立した生活のために、地域で共に支え合う社会づくり
2 - 1 地域共生社会の実現と地域包括ケアシステムの深化・推進
1 地域共生社会の実現に向けた地域福祉の推進
2 地域包括ケアシステムの深化・推進
2 - 2 自立支援、介護予防・重度化防止の推進
1 介護予防・生活支援体制整備の推進
2 地域包括支援センターの機能強化
3 地域ケア会議の推進
2 - 3 在宅医療・介護連携の推進
1 医療・介護提供体制の構築
2 医療と介護の連携強化
3 在宅医療・介護連携推進事業への支援
4 リハビリテーションの推進
2 - 4 認知症高齢者への支援
1 普及啓発・本人発信支援
2 予防
3 医療・ケア・介護サービス・介護者への支援
4 認知症バリアフリーの推進・若年性認知症の人への支援・社会参加支援
2 - 5 高齢者への生活支援の推進
1 生活支援
2 NPO・ボランティアをはじめとする多様な主体との協働
3 生活困窮者等への支援

3 高齢者が安全に、安心して暮らせる社会づくり
3 - 1 高齢者の住まいの確保
1 高齢者の住まいの確保・充実
2 養護老人ホーム、軽費老人ホーム等
3 在宅介護支援センター
4 有料老人ホーム
3 - 2 安全な暮らしの確保
1 犯罪等被害の防止・交通事故対策
2 自然災害への対策
3 感染症への対策
4 人にやさしいまちづくりの推進
3 - 3 高齢者の権利擁護の取組
1 高齢者虐待の防止
2 成年後見制度・権利擁護事業の充実
3 介護サービス事業所等への助言・指導
4 介護保険制度を支える仕組みづくり
4 - 1 介護サービス提供体制の充実及び質の向上
1 介護基盤等の整備・充実
2 介護サービスの質の向上
4 - 2 介護人材の確保・資質の向上、生産性の向上
1 介護人材確保の取組
2 介護現場の生産性の向上
3 多様な専門職の確保等
4 在宅介護を担う家族等の支援
4 - 3 保険者機能の強化（市町への支援）
1 保険者機能の強化について
2 取組方針
4 - 4 公平で適正な介護給付の推進（第6期介護給付適正化計画）
1 介護給付適正化計画の趣旨
2 現状と課題
3 第6期介護給付適正化計画期間における取組
4 県による取組
4 - 5 介護サービス利用者等に対する支援
1 関係機関が連携した苦情処理体制等の強化
2 介護サービス相談員の資質向上
3 低所得者対策の一層の充実
4 共生型サービスの推進等(障害福祉サービスとの連携)

